

情報化施工見学会開く―帯広開建

### 効率の高さに驚きと関心

#### 帯広広尾道で転圧作業公開



行っている。はじめに、主催者として、帯広開建帯広道路事務所の齊藤正利副所長があいさつし、「情報化施工推進戦略」の説明などを行った。

また、請負者

【帯広発】帯広開建は十九日、宮坂建設工業㈱(帯広、宮坂寿文社長)が中札内村で施工中の「帯広広尾自動車道中札内村東三線改良」工事の現場で、情報化施工の現場見学会を開催した。建設業関係者や開建職員など九十人が参加。ローラの軌跡管理による面的な品質管理技術を用いた転圧作業を見学するなどした「写真」。

同工事では情報化施工技術を導入し、二十三年一月までの工期で、高規格幹線道路・帯広広尾自動車道を整備するため、道路土工や地盤改良、法面工事などを

として、宮坂建設工業㈱の阿部忍土木工事部長があいさつ。「土木業界で情報化施工を進めるには、先行投資の回収など課題もある。請負者にとって良い成果品を収めるのは大切な義務。導入に向けた次のステップに進むため、きょうは積極的に質問を」と呼びかけた。

続いて、実演や説明を行った。実演では、ローラの軌跡管理による面的な品質管理技術を用いた転圧作業を見学。また、説明では、「工事施工・管理方法」「GPS機器」「システム関係」のそれぞれのテーマ

ごとにブースを設置して、説明を行った。

見学者は施工の正確さや効率性の高さに驚き、最新技術に高い関心を寄せた。